

Hyogo Hoiku Fes!! NEWS

2018.02.15.Thursday

Hyogo Hoiku Fes!! 実行委員会

2月11日(日)、兵庫大学・兵庫大学短期大学部で、全国保育問題研究集会のプレ企画「Hyogo Hoiku Fes!!」が開催されました。

この「Hyogo Hoiku Fes!!」は、「保育がもっと好きになる一日」をキャッチフレーズに、朝から一日をかけて、学習会を中心とした取り組みをおこないました。

午前の分科会では、LEGO®ブロックを使ったワークショップ・ベビーマッサージ・リズム運動・美味しく食べる・劇づくりの面白さ、それぞれの分野に分かれ、自身が学びたい実践やワークショップをとおして、学びを深めました。また午後の全体会では、服部敬子先生から、乳幼児期だけではなく、学童期を見通した子どもの発達をお聞きして、子ども達の声にならない声に耳を傾けることが、どの時期でも大切だと教えていただきました。

そして、全国保問研兵庫集会の実行委員長の黒澤先生からは、保育者の「しあわせ」とは何かという話から、私達が社会をどう捉えていくかという大きな視点と、実際に保育現場で職員同士の関係をよくする「保育カンファレンス」の話をしていただきました。参加者からは、「保育者は、“子ども達の心の中にすむ存在”という言葉が印象的でした」という声が多く寄せられていました。

今回の「Hyogo Hoiku Fes!!」では、全体で315名の参加がありました。特徴としては、兵庫県の西を中心に、兵庫保問研会員外の参加者が100名以上もあったことです。今回の取り組みをとおして、6月の全国集会につながるよう実行委員一同、力を合わせて頑張っていきたいと思えます。

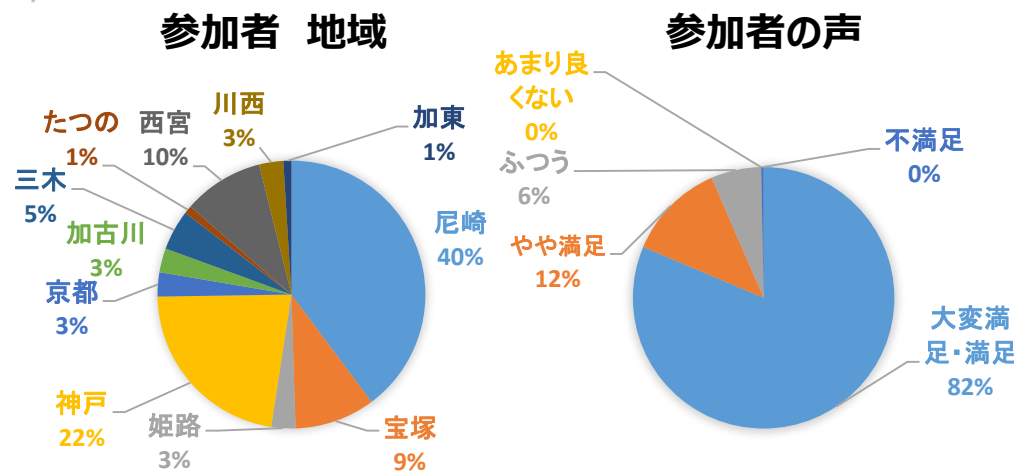
この催しを開催するにあたって、皆さんの準備に奮闘された実行委員の皆さん、お疲れ様でした。



また名刺広告でこの集会の開催に、ご協力いただいた各保育園・諸団体・企業の皆さまや、会場を快くお貸しいただいた兵庫大学・兵庫大学短期大学の皆さまに、改めて厚くお礼を申し上げます。

参加者数
315名

参加者アンケートより (回答数;126名)



分科会 LEGO®ブロックを使ったワークショップ

1人で遊ぶだけではない、他者とのコミュニケーションツールとして有効であると実感できた。人に伝えることの難しさ、相手がどう捉えているか、違う考え方があることの大切さを考えさせられました。

(西宮市 50代 保育所職員)

分科会 リズム運動

いつも使っていない筋肉を使うことで、体の内側から、あたたまることが出来たし、体を使うことに集中することで、集中力も上がるように感じました。

(神戸市 20代 保育所職員)

分科会 劇づくりの面白さ

劇あそびのおもしろさ、課題や悩みを分かち合いながらの素晴らしい話が聞けました。保育所で必ず保育者、子どもの笑顔を増やす、劇あそびをめざします！

(三木市 40代 保育所職員)

分科会 美味しく食べる

子どもは味覚よりも視覚が大切だと知り、色どりやお皿も楽しく食べるには大切なのだと知りました。実践でやってみたいと思えるような話も聞け、ぜひ子どもたちに体験させてあげたいと思いました。(尼崎市 30代 保育所職員)

分科会 ベビーマッサージ

ベビーマッサージのやり方から準備物、声のかけ方など、細かく学ぶことができて、とても勉強になりました！人形を使って実際にやってみたので、思い出してまた出来ると思いました。(姫路市 20代 大学生)

全体会①「学童期を見通して、私たちが大切にしたい子どもの発達と権利」

学童期に大変多くの割合で、いじめの被害、加害を経験している子どもが多いことに驚きました。同時に自分の小学校時代を思い出しながら聞いていて、「あのね帳」が単なる宿題や文書を書く練習もあるかもしれないが、字の様子や文書の変化から、子どもの情緒などたくさんのが読めとれることに気がきました。しっかりと子どもの思いを汲み取れる人になりたいと感じました。(尼崎市 20代 保育所職員)

全体会②「しあわせな保育園づくり しあわせな社会づくり」

現代の保育問題、なんとなくわかっているつもりだったが、はっきり言葉にしてもらうと、わかりやすかった。若い先生方への理解につながると思う。気持ちを理解しにくい子どものことばかりになりがちだが、保育士のこと考えてもらえるのが嬉しい。(尼崎市 40代 保育所職員)

全国保育問題研究集会 兵庫集会

6月1日(金)～3日(日)

下記のQRコード又は検索をご覧ください。



全国保問研 兵庫集会

お知らせ